



《笑顔でチャレンジ!》

学校だより

上越市立下黒川小学校

第5号 (6月号)

平成30年6月26日発行

<http://www.shimokuro.jorne.ed.jp/>



6/7

『声掛け合い 励まし合って 全校登山』

校長 岩下 伸子

下黒川小学校では、登山と縦割り班遠足を、隔年で行っています。

昨年度は、全校児童が心班ごとに大湯森と水の公園へ行き、オリエンテーリングや5年生(現6年生)が考えた遊びを楽しみ、心班の絆を深めてきました。

今年度は、登山の年です。

これまでは、3年生以上が心班ごとに米山に登り、1・2年生は電車やバスを使った遠足を楽しんできました。しかし、それを、今年度から全校登山として1年生から6年生までが米山に登ることにしました。統合前の黒川小学校では、1年生から6年生までが米山に登っていました。3年生以上の隔年登山では、雨や熊出没などの状況により、登れない年もあるからです。せっかく、米山登山口が校区にある下黒川小学校としては、全校で登り、校区の良さを改めて知ると同時に、励まし合って目標を達成させる成就感を味わってほしいと願い、全校登山を計画しました。

「1・2年生でも大丈夫かな?」の心配と、「3・4年生も初めて登るんだけど」の不安と、保護者ボランティアの方々「私たちが、大丈夫かしら?」の心配の中、下牧登山口から登り始めました。

柿崎山岳会の方々、班の様子を見て休憩を入れてくださったり声を掛けてくださったり、ペースを調整しながら登ってくださいました。心班の班長・副班長は、「大丈夫?」「もう少しだよ」「リュック持ってあげる?」などと低学年に声を掛けていました。鎖場からの絶景、頂上での見晴らしの良さ、お弁当の美味しかったこと、…途中の苦しさも忘れ、頂上での子どもたちの表情は、達成感がありました。帰り道、林道登山口まで降りてきた子どもたちは、広場で「だるまさんが転んだ」をしながら元気いっぱい遊び、水野まで歩き、水野からスクールバスで帰ってきました。

OBを含む3名の山岳会の皆様、27名の保護者ボランティアの皆様ののおかげで、無事、米山全校登山を実施することができました。本当にありがとうございました。



5/30 第1回学校運営協議会



今年度の会長は小松隆さん、副会長は引き続き服部勢津子さんに決定しました。新たに4人の方が交代され、下記の方々が今年度のCS委員を引き受けてくださいました。

◇学校運営協議会委員(CS委員) (敬称略)

1	会長	小松 隆	高寺町内会長
2	副会長	服部勢津子	民生委員児童委員
3	委員	滝澤 洋美	下黒川保育園長
4	委員	山川春男(新)	地域コーディネーター、区青少年育成会議会長
5	委員	吉井 一寛	後援会長、下黒川地区町内会長連絡協議会長、中学校CS会長
6	委員	山崎克男(新)	黒岩・黒川地区町内会協議会長
7	委員	星野 亨(新)	黒川地区16ピース代表
8	委員	角張 寛美	下黒川分館サポーター
9	委員	朝川 公徳	PTA顧問(29年度PTA会長)
10	委員	曾田 直人	PTA会長
11	委員	田中康彦(新)	PTA副会長

※(新)…新たな方 ※学校側委員：校長 岩下伸子、教頭 野口浩二 (計13名)

◇主な内容：承認事項(◎)・質疑(★Q、☆A)・感想(○)・お願い(◇)など

- ◎昨年度末、第3回学校運営協議会で検討し、作成した今年度のグランドデザインや学校経営、教育計画等の承認。
- ◎「こころプロジェクト」「まなびプロジェクト」「からだプロジェクト」の3プロジェクトの取組内容を説明、承認を得る。
- 学習参観の感想「みんな落ち着いて学習していた。昨年度に比べ、成長が見られる」
- ★Q:「下黒川小学校は全国学力学習状況調査(全国学力テスト)やNRTの結果等もすごくよく、学びの質の向上が図られている。しかし、しわ寄せがいかないような手立てもお願いしたいが…」(小松会長)
- ☆A★Q⇒「学校では『わかる・できる・表現する授業』づくりに取り組んでいる。学校での授業と同時に家庭学習による定着が大事である。TKBの取組により家庭学習の習慣化を図られている。家庭での子どもたちの様子はどうか？」(校長)
- ☆A⇒「子どもは家庭学習や様々な活動を楽しんでやっている。大丈夫」(曾田委員)
- ☆A⇒「子どもたちはよくやっている。家庭学習もイヤイヤやっている感はない。遊びも発想力がある」(田中委員)
- ☆A⇒「学力向上、社会性育成、体力づくり、学習指導要領改訂による外国語活動等の時数増加、道徳の教科化など、学校が取り組んでいく課題は多い。そんな中、教育活動の見直しを進め、精選しながら取り組んでいきたいと考えている。学校行事や課外の見直しを進めている。子どもたちや職員の負担増にならないようにしたい」(校長)
- ◎今年度の文化祭の基本方針について説明
- ◇午前中は「ダンスフェスティバル」、午後からは「芸能発表会」(下黒川分館主催)と「わくわく体験活動」を行う。「わくわく体験活動」はCS委員さんを中心に、保護者・地域の皆様にもご協力をいただきたい。子どもたちが楽しみにしている。(教務)
- ★Q:「文化祭の『わくわく体験活動』について、事前に担当や役割などが分かるとよい」(全委員)
- ☆A⇒昨年度初めての試みであった。子どもたちも大変喜び、今年の活動も楽しみにしている。次回、提案するので協議していただきたい。PTAのお父さん方のお力もお借りしたい」(校長)
- ★Q:「『わくわく体験活動』で、柿崎ジュニアリーダーを活用したらどうか」(山川委員)
- ☆A⇒「是非ともお願いしたい」(校長)



◇『わくわく学習』(生活科・総合的な学習の時間)の取組について

- <1年> みんなだいすき『学校大好き 大好きアサガオさん ヤギさん大好き ありがとうがいっぱい』
- <2年> ぐんぐん育ってね えがお畑の野菜たち!
- <3年> めざせ! 黒川・下黒川名人 ~『ひまわり探検隊』でまち自慢を見つけよう~
- <4年> 見つけよう・考えよう・伝えよう ~柿崎川を探検しよう! かがやき調査隊~
- <5年> Let's Enjoy 柿崎! ~柿崎を丸かじり~
- <6年> 柿崎に学ぶ 人に学ぶ ~げんき学年パワーアップ大作戦~

★上記『わくわく学習』(生活科・総合的な学習の時間)の学年の取組について、委員の皆様からたくさんのアイデアをいただきました。いただいたアイデアを基に、『わくわく学習』が充実するように取り組んでいきます。

子どもたちが地域に出て、地域の中で、たくさんのことを学びます。保護者の皆様・地域の皆様、どうぞ子どもたちに地域の良さをたくさん教えてあげてください。黒川・下黒川・柿崎が大好きな子どもたちです!



5年生「自然教室」

5月31日・6月1日に5年生は「国立妙高青少年自然の家」に行ってきました。

行く前は、期待と不安の入り混じった気持ちでいた子どもたちでしたが、自然の中、仲間と共に1泊を過ごす中で、『協力すること・周りのことを考えること』の大切さを学ぶことができました。

野外炊飯や源流体験、秘密基地作り…、全てにおいて仲間との協力が必要です。

「自然の家」の利用においても、『来た時よりも美しく』そして、公共施設利用マナーを守って、互いに声を掛け合い、進んで掃除をしたり片付けたりする姿が見られました。

挨拶の仕方も立派だと褒められました。

「最初は全て一人でできるか心配だったけど、いろいろなことに挑戦する中で、できるようになり、楽しくなってきました」と子どもたち。

「もっと泊まっていたかった」と言いながら、元気に帰ってきました。

仲間と共に過ごすことによって、子どもたちは大きく成長しますね。

テレビやゲームのない生活も…いいですね！



6/12 学校保健委員会「救急法講習会」

今年度の学校保健委員会では、頸北消防署の方から「救急法」についてご指導いただきました。

通常、学校にプールがあり、夏休みにPTAによるプール開放を行っている学校では、毎年「救急法講習会」を開いています。ですが、当校ではプールがなく、プール開放もないため、これまで救急法の講習会を実施していませんでした。しかし、スポーツをしていたり、海や川で遊んでいたりと、街で買い物をしていたり、おうちの中で休んでいたりとするときでも、いつ、心肺停止の状況の場面に遭遇するかわかりません。

救急車が駆け付けるまでの5分間、何もしない状況よりも、たくさんの人に声をかけ、ひたすら『胸骨圧迫』による心肺蘇生を行うことが重要とのことでした。心肺停止と判断される疾病者には、《強く早く絶え間ない胸骨圧迫》によって救命率は大幅に向上するそうです。

『AED』の使い方についても教えていただきました。当校では、体育館玄関にAEDがあります。学校開放などで体育館を使われるときはご確認ください。頸北消防署の方は「要望があれば、どこでも講習会の講師として出かけていきます」と言ってくださいました。もしものときに役立つよう、講習を受けていくことが大切だと思いました。



～児童の感想より～

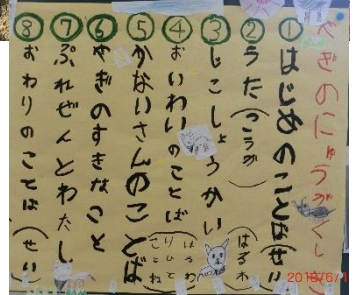
- 一人でも多くの方が、心臓マッサージやAEDのやり方を知っていると、その分、たくさんの方の命が助かると思いました。
- 初めて心臓マッサージをしてみて、思ったより大変だったし、5cmも押さないといけないと言われた時はすごくびっくりしました。

～保護者アンケートより～

☆過去に救急法の講習会を何回か受けたことがありましたが、実際に使う場面がなく、時間とともに内容を忘れてしまっていました。今回、心臓マッサージとAEDのやり方を再び教えてもらい、新たに知識を深めることができました。家族や周りの人に何かあった時、すぐに対応できるようにしたいです。

1年生「ヤギさん入学式」

今年も荻谷畜産さんからヤギをお借りして、1年生がお世話することになりました。今年の1年生は5人です。「5人で大丈夫かな…」「でも、飼いたいよね」「全校にお手伝いをお願いします?」「いい考えだね」…。



1年生は、ランチルームで全校の皆さんにお願いしました。「ぼくたち・私たちはヤギを飼います。でも1年生は5人しかいません。ボランティアでお手伝いをしてくれる人はいませんか?どうぞよろしくお願いします」…と。すると、たくさんの子もたちがボランティアを引き受けてくれました。

1年生は小屋の掃除をし、飼うための準備を進めました。

6月21日(木)、ヤギがやってきました。3月20日に生まれたオスのヤギです。とってもかわいくて、元気なヤギです。2年生は「去年飼っていた『げんき』に似ているね。『げんき』の子もかな?」と、1年生とその子ヤギを見守ってくれます。緊張していた1年生も、入学式が無事終了し、いよいよ本格的なお世話が始まります。

「ぼくたちは『あおぞら』学年。ヤギは今日からぼくたち『あおぞら』学年の仲間。だから、『あおぞら』って名前はどうか?」と1年生の子もたち。子どもたちが廊下を通ると人懐っこく『メエ〜』と鳴き、美味しい草を持っていくと寄ってきます。

中型動物を飼うことは、1年生にとっては大変なことです。仲間と協力しながらお世話をし、『生き物を飼うことの大変さや、命の温もり、友達と協力することの大切さなど』たくさんのことを学びます。そして、1つ1つの活動をやり遂げることによる自己有用感・成就感を味わうことができます。

保護者の皆様・地域の皆様…どうぞ子どもたちのがんばる姿を温かい目で応援してください。



TKB 週間・読書週間

柿崎中学校区の4小中学校では、TKB(テレビを消して勉強しよう)に取り組んでいます。今までは旬間として10日間取り組んでいたものを、今年度は週間として1週間の取組としました。7日間の取組でしたが、達成率は昨年度よりも良いようです。集中して取り組めたことが成果につながっているようです。今、集計中です。学校評価等と一緒に成果をお知らせしたいと思います。週間は終了しましたが、引き続き、めあてをもって家庭学習に取り組んでほしいと思います。

さて、TKB 週間にあわせて、読書週間・生活チェックも実施しました。

読書週間では、読み聞かせボランティアの吉井さんのほか、図書委員の子どもたちや心班の6年生の読み聞かせがありました。学校司書の山崎先生のブックトークや「うさぎの会」の方による小川末明のお話会もあり、盛りだくさんの内容。読書に親しんだ1週間でした。

いつもは1・2年生向けに読み聞かせをしてくださっている吉井さんから、3・4年生や5・6年生の読み聞かせもしていただきました。高学年になっても子どもたちは読み聞かせが大好き。ご家庭でも親子で読書を楽しんでください。学校では、読み聞かせをしてくださる方を大募集! 是非、学校までご連絡を! Tel536-2467(教頭)

柿崎区TKB運動

テレビを消して勉強しよう

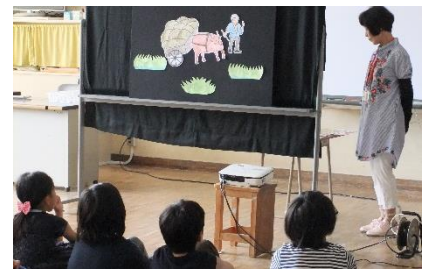
2018 TKB週間

4回目 1月 23日-29日	1回目 6月 12日-18日
3回目 11月 9日-15日	2回目 9月 13日-19日

めあて 分
がんばること

小1・2年 30分
小3・4年 45分
小5・6年 60分
中学生 60分以上 名前

柿崎小学校 上下浜小学校 下黒川小学校 柿崎中学校



主な予定



2日	1・2年防犯教室	10日	学習参観・学期末PTA・学年懇談
3日	アルミ缶活動・5年生外国語活動授業研究		アルミ缶活動・3年PTC・4年PTC
4日	民生委員・児童委員学校訪問	11日	避難訓練
5日	上越教育事務所訪問(上下浜小)・3限後放課	24日	1学期終業式